

那賀川水系大規模氾濫減災協議会

令和2年11月 取組状況

■ 取組

1. 円滑かつ迅速な避難行動のための取組

(1) 平時から住民等へ避難行動のための周知・教育・訓練に関する事項

⑦地域の寄り合い、各種団体の研修会、小中学校等における水防災意識社会再構築ビジョンに関する教育・訓練を実施 【四国地整】

那賀川河川事務所は、11月1日（日）に阿南市那賀川町の下苅屋地区自主防災会の依頼を受けて下苅屋集会場にて出前講座を実施しました。

この時期の開催ということもあり、新型コロナウイルス感染防止のために参加者の人数制限、換気の徹底、アルコール消毒、マスク着用等の十分な対策をとりながら実施しました。

内容としては「那賀川の水害に備えて」のテーマで那賀川で起こった過去の水害の様子や近年頻発している大規模水害の様子をはじめ、那賀川の特長、堤防決壊のメカニズム、上流のダムについての情報等を説明しました。

また、マイタイムラインの紹介や、パソコンで浸水シミュレーションをはじめ防災情報取得のしかたを実演することにより、具体的にいつ頃避難を開始すればいいかの議論も行っていただけました。

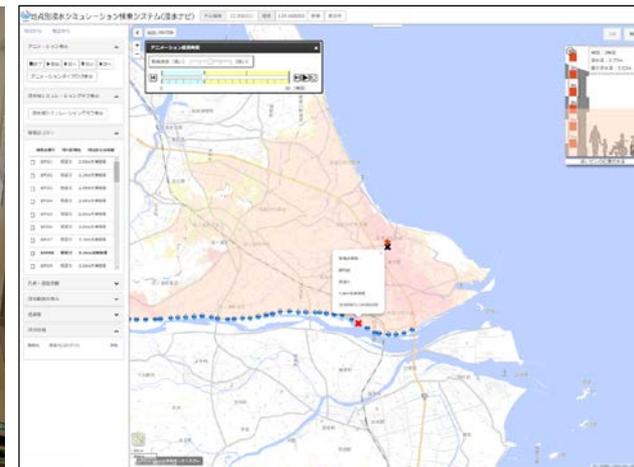
今後も十分なコロナ対策を行った上で、地域住民に河川行政の内容をご理解頂くため、出前講座を通じて那賀川の河川・ダム整備状況や危機管理対応などの情報について、積極的に発信していきます。



【出前講座の様子】



【出前講座の様子】



【浸水ナビ実演画面】